

地域ケア推進会議 報告書

【医療・介護連携に関する場合のみ】

提出日	2024年8月1日
作成 高齢者支援センター	鶴川第1
作成者	高野 由美子

1.開催日時	2024年7月18日	(木)	19:00	～	20:30	
2.会場	対面、オンラインのハイブリッド					
3.主催センター	鶴2	・	鶴1	・		
4.参加人数	26人					
5.参加者内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者支援センター	7人	<input checked="" type="checkbox"/> 医療と介護の連携支援センター	1人		
	<input checked="" type="checkbox"/> 医療関係者	4人	(うち、医師	人)	<input checked="" type="checkbox"/> 介護事業者	11人
	<input type="checkbox"/> 民生委員	人	<input type="checkbox"/> 老人会	人	<input type="checkbox"/> 住民	人
	<input type="checkbox"/> 町内会自治会	人	<input type="checkbox"/> 警察	人	<input checked="" type="checkbox"/> 行政	3人
	<input type="checkbox"/> その他	()				
6.開催テーマ	「大災害発生！オール鶴川で乗り切るために私たちにできることは？」					
7.地域課題	(1) 課題設定の背景					
	鶴川圏域の地区別人口動態から、圏域の人口推移について確認すると、高齢者数、高齢化率共に上昇傾向にある。独居や社会的孤立により、医療や介護保険でのサービスを利用する事により生活が行えている地域住民が多く存在している。					
7.地域課題	(2) 検討した地域課題					
	鶴川地区には災害時の医療拠点が少なく、災害発生時の避難宿泊施設も13か所である。その中で、災害発生時に医療や介護サービスを各事業所は速やかに提供できる体制整備としてBCP策定しているが、実効性があるのか疑問視する声もある。発災があった時を想定し、実効性のあるBCPの策定と、他事業所との連携体制の構築を進める事により、災害発生時でも市民へ早期のサービス再開を図る為の体制整備が求められる。					
8.会議の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養部会からの報告(6月のレシピ等配布状況)。齋藤主CMより、町プロ市民向け研修(フレイル予防とACP)でこれまでのレシピの紹介可否打診あり、是非活用をとる。 ・5月に受けた、鶴川消防署の講話を振り返り、大災害時の自助の大切さを確認した。また、「災害を想定した各事業所の取り組みアンケート」の集計結果について共有した。 ・10月に予定されている、金井町内会の防災訓練・避難所開設訓練について、シミュレーションの機会として参加の提案があった。 					
9.課題に対する対応策・今後の地域での展開	各事業所の防災への取り組みを共有するとともに、いくつかのシミュレーションの機会を持ち防災への意識を高めるべく取り組む。それらの結果をまとめて圏域合同地域ケア推進会議にて広く共有する予定となる。					
10.その他						

医療と介護の連携支援センター 確認日

8月1日